

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	消防団器具庫から車両を出す際にシャッターに車両上部を接触させた事案
3. 体験した事例の中心的要素	消防団器具庫から車両を出す際、車庫シャッターを上げきらずに車両を出したことで、車両上部を接触させたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	・油断、不注意によるもの ・車庫シャッターを上げきらなかったこと

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年8月27日 午前8時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋内
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:車両を車庫から出す
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	1年に数度程度の割合で体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[30]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5]年、階級[団員] 同様の活動[頻繁]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[9]年、階級[部長] 同様の活動[頻繁]、任務[車長]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[], 任務[]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	消防団器具庫のシャッターを上げた (完全に上げきらなかった)	
経過2	当事者A	車両を車庫から出そうとした	
経過3	当事者A	車両上部をシャッターに接触させた	
経過4	当事者B	助手席に座っていた	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

何も考えずに車両を動かしてしまった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

事故の状況を消防団内で共有し、再発防止を呼び掛けた。

○装備・資機材の対策について

なし

○活動環境の対策について

なし

○指揮・情報伝達の対策について

なし

器具庫シャッター破損事故について

毎年のように発生しているシャッター破損事故ですが、発生する状況は常に一緒なので再度共有させていただきます。

多機能型車両はキャブ（人が乗る部分）と後部ボックス（資機材を積載する部分）で高低差があります。シャッターを完全に上げ切らない状態でも、運転手の目線では問題なく発進することが出来るように見えます。しかしながら、後部ボックスのレールはキャブよりも高い位置にあるため、ここがシャッターにぶつかってしまいシャッターを破損させます。

シャッターを完全に上げた状態で発生すれば、車体をぶつけることはありません、出動の時は誰もが焦ってしまうものですが、そういった時こそ落ち着いて、確実に安全な出動を心掛けていきましょう。



【☆結論☆】

シャッターを全開にしてから発進しましょう！